

保健体育科

個人の能力差を考慮した学習指導 VI

生徒の創造性を生かした徒手体操の指導（その3）

天野菊三郎 原田 秀雄 北田 明子

要 旨

学習指導の場に個人の能力差を考慮することは、学習効果をあげるうえに極めて重要なことである。わたしたちは徒手体操をとりあげ、一連の体操の創作をテーマに、今年度も引き続き授業研究を行なった。

はじめに

女子の創作ダンスの学習と同様に男子に創作体操の学習を行なわせることによって、創造性の開発をねらったということは前に述べた。今回は前々回、前回の結果のうえにたって、それを更に発展、前進させる方向での授業を行ない、その結果について分析、検討を加えてみた。

目 的

前々回が個人を単位とした創作学習であり、前々がグループでの創作学習で、いずれもラジオ体操の曲を利用した。その理由は創作過程において、メロディーやリズムが或程度頭の中にはいつているので体操が創りやすいであろうという配慮であった。しかしその反面既成の体操にとらわれ、創作というよりも模倣に近くなるということか反省においてあった。そこで今回は曲も生徒達の課題とし、それを中心に学習結果を分析してみた。

方 法

- 対 象 高等学校第1学年男子62名（12グループ編成）
学習時間 10時間
学習形態 グループ学習、(グループは無作為編成)
学習テーマ グループで一連の徒手体操をつくる。約3分間とし、曲も各グループで選びテープを用意する。演技は動き廻るようなもの、組になってするものがあっても構わない。
学習計画 1～2時 オリエンテーション
3～6時 創作
7～8時 発表準備

9～10時 発表評価

結果の整理と考察

学習後、こうした学習についての反応、問題点等について生徒と話し合いをしたり、アンケートを行なったのであるが、今回新しく試みた曲の問題に焦点を置いて書くことにする。

1. 生徒達はどんな曲を選んだか。

こうしたテーマを与えられて生徒達がどんな曲を選んだかは下の表のようであった。

オクラホマミキサー	クワイ河マーチ
黒ネコのタンゴ	コンバット
泳けタイヤキ君	ガッチャマン
ゲゲゲの鬼太郎	巨人の星

注 偶然同じ曲を選んだグループもあった。

この生徒達の選曲についてみると、やはり普段耳馴れた歌やリズムでみんながよく知っているもので、創作の段階で体操の創りやすいものを選んだといっよいであろう。勿論編曲にもよるのであるが中にはこんな曲で体操ができるだろうかと思われるものもあった。私たちがはじめに予想していたフォーク歌謡とか、或いは昔からの名曲といわれるものや、ダンス曲などは一つも選ばれなかった。選曲について生徒達はアンケートの中で次のように答えている。

2. 曲をきめるのにグループでどんな苦労があったか。

仲々よい曲がみつからなかった……………	22名
リズムのとりやすい曲を選ぶのに苦労した…	19名
みんなが知っている曲が仲々なかった……	3名
テープの用意できる曲が仲々なかった……	3名
余り苦労をしたとは思わない……………	15名

よい曲という意味は、リズムのとりやすい曲と同じ意味のものもあるのであるであろうが、とにかく生徒達が自分達の創ろうとする体操のイメージがあって、それに合うようなものということであろう。だからみんなが知っているものならば何んでもよい、というので

はなさそうである。

3. 知っている体操曲, (例えば, ラジオ体操), 全然知らない体操曲, 体操曲以外でみんなの知っている曲の三つのうちで, どれでやるのがよいか。

知っている体操曲……………	21名
知らない体操曲……………	7名
体操曲以外の知っている曲……………	34名

知らない曲というのは, 曲を覚えなければならないという苦勞が一つ増えることになるから, 問題は体操曲か, 体操曲以外の曲かということになる。そこで生徒の知っている体操曲というと大部分がラジオ体操の曲であると思われるが, これを選んだ理由はリズムが頭に入っているから体操が創りやすい, 今の体操の変化を考えて変形させればよいから創りやすいということをあげている。しかし実際に生徒達はラジオ体操をとりあげないで, 前記のような選曲をしたわけで, その理由は, 今までのものにとらわれないで, 新鮮なものが創り出せそうな気がした, 自分達で選んだ曲だから楽しく学習できそうな気がしたということで, あえて冒険に挑んだともいえそうである。この辺に生徒の意欲とか, 積極性を汲んでもよいのではないだろうか。

4. 選曲は1曲のテーマ曲に限定して, その選曲を先生がするのと, 全員の意見でするのと, 今度のようにそれぞれのグループにまかせてしまうのと, どれがよいか。

先生の選曲でどのグループも同じ曲でやる……	5名
全員で選曲してどのグループも同じ曲でやる……	9名
選曲はそれぞれのグループにまかせる……………	48名

同じ曲でやるのがよいとするものは, 僅かではあったが, 同じ曲でやれば体操に対する評価が公平になるとか, 曲のよしあしや人気の評価に影響すると, 選曲と体操とを別々に分離した考え方でその理由としている。それに対して各グループにまかせるほうがよいとする理由は, それぞれのグループの個性や特色がでて, いろいろ面白いものができる, 発表に変化ができて楽しみだ, 選曲も学習のうちである, 自分達のものという親しみができる等をあげている。この年代の他人の干渉を受けたくないという感情と, グループとしてまとまった場合の対抗意識がそうした理由の中にもうかがえる。

5. 選曲と体操の創作とどちらが重要と思うか。

曲で全てが決まると思われる程選曲が重要…	7名
選曲と体操の創作とは同じくらい重要……………	41名
曲よりも体操のできばえのほうが重要……………	14名

曲が重要とする理由は, リズムが大切だから, 体操がよくても選曲が悪いと効果がないとするもので, 体操競技の徒手演技における選曲や, フィギュアスケートの演技の選曲と同様の考え方であろう。また曲よりも体操の創作のほうが重要だとする理由は, 創作の学習なのだから体操そのものできばえて評価されるべきで曲についていうべきでない, 曲のイメージも体操によってかわる, たとえフォークダンスの曲のようにテンポの早い曲でも実際にすぐれた作品ができたではないかというもの。しかし大部分の生徒は, 曲の選び方のよしあしが, その後の創作活動に影響するが, 結局は曲と体操とがマッチしたものでなければよい作品にならないとしている。

む す び

以上創作徒手体操における曲の問題について考えてきたが, このほか学習全体を通じて曲について生徒達が感じたことをあげると次のようなものがある。

自分達で選曲できたことのうれしさ, グループ毎に曲のちがうことの楽しさ, またそのことによるグループ意識の強まりなどをあげている。また発表でよい評価を得た理由の中に, 選曲のよさ, 曲と体操とうまく合っていたことなどをあげている。

こうした結果をみると今回体操の創作に加えて選曲まで生徒の課題として与えてみた試みは一応それなりの成果があったのではないかと考えられる。しかし, 全然問題がないわけではなく, 最初にあげたように生徒のとりあげた曲をみると, TVの漫画, 童謡などが多く, 作品の中にも「あて振り」的な動きをとり入れているものもあり, そのあたりが創作次元を高めてゆくための問題点でもあろうかと考えられる。

女子の創作ダンスに対して男子の創作徒手体操と男子の学習分野に試みた新しい学習も己に三年目, 創作の喜び, 楽しさを何とか生徒の中に定着させたいと考えて試行錯誤をくりかえしてはきたものの, まだまだ多くの問題をかかえている。御批判と御指導が頂ければ非常に幸いである。